



2026年1月1日 第46号

J P 労組新潟連協退職者の会
〒951-8799 新潟市中央区東堀通
七番町 1018 新潟中郵便局内
発行責任者 会長 山田 太郎

明けましておめでとうございます

J P 労組新潟連協退職者の会 会長 山田 太郎



のこととお喜び申し上げます。
昨年7月に行われた参院選では、組織内比例区「小沢まさひと」さん、新潟選挙区「打越さく良」さんの再選に向け取り組みをいただきました。長期戦と猛暑の中の戦いを制し、両議員ともに二期目の当選を果たすことができて改めて感謝申し上げます。昨今、国政レベルに限らず従来の選挙スタイルから若者世代を中心にSNSを活用した選挙の戦い方へと様変わりし、直近の衆・参選挙における新興政党の躍進など、選挙結果に大



明けましておめでとうございます。
会員及び協力会員の皆さまには健やかな新春をお迎え

きな影響を与え勝敗を左右する重要な要素となつていきます。そんな中でも退職者の会の取り組みは、現役時代からの伝統的な手法として、家庭訪問や手紙・電話など、アナログ活動を軸に会員や家族に温もりの伝わる取り組みとして功を奏してきたと確信しています。

さて、退職者の会は2014年に結成され今日に至っています。この間、定年延長や雇用延長など社会情勢の変化の中で発足当初の制度設計に大きな支障が生じてきました。



また、会員の減少や高齢化も相まって組織運営の見直しが必要とされています。具体的には、今年度以降、慶弔制度や会費のあり方、役員数や会議設定等、組織運営の根幹に関わる課題について抜本的な検討を進めていくこととしています。

昨年10月にスタートした新たな政権下では高い支持率を背景に、安保三文書の改訂による軍備の増強、防衛費の前倒し、スパイ防止法、非核三原則の見直し、憲法9条改憲など、矢継ぎ早に前のめりの政策が打ち出され、右寄りに大きくハンドルを切ろうとしています。併せて、永田町では解散風も吹きはじめ総選挙が現実味を帯びてきました。この新年号が届くころには情勢も動いているかと思っています。

このような状況の中で新たな年を迎えましたが、今年度も現退一体運動のさらなる前進と会員拡大に全力を挙げ、常在戦場の心構えで運動を進めていく所存でございます。皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新春のご挨拶とします。本年もよろしく申し上げます。



新年のごあいさつ

J P 労組新潟連協協議会

議長 関川 武



新年、明けましておめでとうございます。

J P 労組新潟連協退職者の会の会員ならびにご家族の皆さんにおかれましては、健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年 7 月に施行された第 27 回参議院議員選挙において、比例区では J P 労組組織内議員「小沢まさひと」、新潟選挙区では「打越さくら」の再選を果たすことが出来ました。候補擁立してからご支援、ご協力いただいたことに感謝いたします。ありがとうございます。しかし、私たちの政治活動は当選して終わりではありません。

また、日本郵政グループ各社を取り巻く経営環境が依然として厳しい状況ですが、組織の知恵と工夫をもって乗り切っていくため、組織への結集力に向け「職場を軸とした運動」を追求するとともに、組織数の維持・拡大に向け現退一体で取り組みを進めていきますので、何卒、ご協力をお願いいたします。

物価高が家計にあたる影響は続きそうですが、本年が皆様にとりまして、ご健勝と幸多き一年となりますよう祈念申し上げます。年頭のあいさついたします。

J P 共済生協信越地方部

部長 塚野 秀一郎



あけましておめでとうございます。

退職者の会の皆さまには健やかな初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、J P 共済生協（愛称：ポストラライフ）の取り組みにご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨年は初競りマグロが 2 億 7 0 0 万円と過去 2 番目の高値で取引されるという景気の良いニュースで始まり、大相撲では大の里が 8 年ぶりの日本人横綱に昇進、大阪・関西万博の開催、首里城の外観の復元が完了するなど明るいニュースがありました。

他方、6 月末から 7 月初めにはトカラ列島近海を震源とする震度 5 弱の地震が 1 週間程度続き、その他にも全国各地で大雨や台風などの自然災害が発生しました。また、昨年は大規模な林野火災が 11 件発生しており、信越内では 2 月 28 日に上田市で約 1 0 0 h a を焼く森林火災が発生しました。毎年のように地震や豪雨といった災害は全国各地で起きており、日本だけではなく世界中が異常気象の影響を受け自然災害が頻発化、甚大化しています。

災害は、いつ・どこで起きてもおかしくないという状況は本当に身近に感じられるようになりました。「万が一への備え」・「避難経路と避難場所」・「家族・親類との連絡体制」など、あらためてご家族で確認いただきたいと思います。

国内情勢・国際情勢どちらを見渡しても難しく厳しい時代であります。本年が皆さまにとりまして、ご健勝で幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。年頭のあいさついたします。



「小沢まさひと」・「しば慎一」参議院議員 新年ごあいさつ

参議院議員

小沢 まさひと



新年明けましておめでとうございます。

日頃よりJ P 労組新潟連協退職者の会の会員、ご家族の皆さまから温かいご支援を賜り、心より御礼を申し上げます。

昨年夏の参議院選挙では、皆さまの絶大なるご支援により、2期目6年間の託していただきました。この勝利は、「働く者の声を国へ届けたい」という強い思いが結実したものです。改めて心から深く感謝申し上げます。現場の声の代弁者として国政に届けて参ります。

日本郵政グループは、地域社会のインフラを支える重責を担う中で、急速なデジタル化、深刻な人手不足、そしてユニバーサルサービスの維持といった複合的な課題に直面しています。このままでは、安定的な事業継続とユニバーサルサービスの維持が困難になる恐れがあります。賃金・労働条件の抜本的改善、安心・安全な職場環境の確立、未来志向の業務改革推進等、郵政事業を持続的に発展させる道筋を、確かなものとしていかなければなりません。すべての組合員が希望を胸に働けるグループの実現に向け、しば慎一議員をはじめ、組織内議員と共に取り組んで参ります。

皆さまの変わらぬご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。

J P 労組組織内議員（新潟連協内：地方議員）のご紹介【写真左から】
中川健二 佐渡市議・板倉恵一 弥彦村議・高橋聡子 新潟市議



投稿コーナー

【俳句】
春 まが玉のヒスイ花色 雪割草
夏 広島へ強呼に平和 夏来たり
秋 なつかしやスイツと輪をかく 秋菖
冬 歳星霜能登に舞い咲く 波の花
上越支部 玉久保 春光

参議院議員
しば 慎一



明けましておめでとうございます。日頃より、私に対する心強いご支援を賜っていることに御礼申し上げます。新潟連協退職者の会会員のみなさまにおかれましては、日々、運動に取り組まれていること、心より敬意を表します。

さて、昨年の参議院議員選挙においては、組織の総力を挙げた取り組みにより「小沢まさひと議員」の再選を果たし、J P 労組の政策実現に向けた態勢確保が出来ました。郵政事業が直面する課題は、民営・分社化のあり方そのものに起因する点も多く、私も小沢議員とともに力を合わせて、政治の場において組合員の幸せ実現、郵政事業の持続的発展に力を尽くして参ります。

一方、我が立憲民主党は、事実上の敗北と言わざるを得ない結果となりました。野党第一党としての政策発信の難しさを痛感しましたが、日本社会の格差が拡大、国民の将来不安、政治不信の高まりによる排外主義的主張、ポピュリズムの台頭に対抗する「穏健中道リベラル」路線をブレることなく進むことが私たちの使命であると認識しています。

全国各地の職場を訪問し、各職場で懸命に頑張るみなさまの姿が、私の活動の原動力となっています。新しい年がみなさまにとって幸多き年となることをご祈念申し上げ、新春メッセージといたします。



新潟連協退職者の会 第1回幹事会開催

10月3日、連協第1回幹事会を新潟市万代市民会館において、14名の出席により開催しました。

内藤副会長を座長に選出後、山田会長より①自民党総裁選の行方と喫緊の政治情勢、②連協・支部幹事会体制、③2025年度活動計画について挨拶を受けました。関川議長から①小沢選挙の御礼、②組織現状と運動の継承、③「点呼不適切問題」に関する現状と今後の対応について説明がありました。

議事では第11回総会の運営について評価・反省を行うことと

もに、25～26年度役員体制の確認、及び25年度の具体的活動計画についての意識統一と「小沢まさひと」参議院選挙の支部アンケートの集約を踏まえ意見交換を行いました。「小沢まさひと」選挙については第2回拡大幹事会で最終的な総括を行うことを確認しました。

最後は牧副会長による「まとめ」で閉会し、終了後11名の参加により親睦と交流を深めたところです。

～ 連協退職者の会 第1回幹事会 議題 ～

<報告事項>

- 1 活動報告
- 2 連協退職者の会 第11回総会・交流懇親会の振り返り
- 3 支部退職者の会 第11回総会開催状況
- 4 2025～26年度連協幹事・支部役員体制
- 5 日本郵便「不適切点呼問題」の経緯と対応等

<協議事項>

- 1 2025年度具体的活動計画（案）について
- 2 「小沢まさひと」参議院選挙総括について

<周知事項>

- 1 共済交付金等の送金
- 2 各種署名の集約状況
- 3 春夏秋冬「長寿で生き生きコーナー」担当支部
- 4 今後の日程

2025年度 前期支部共済担当者会議



<塚野地方部長提起>

標記会議が9月26日、千曲市「清風園」において、現退69名により開催され、新潟連協退職者の会から新潟支部高橋事務局長と西蒲原支部揖斐会長が参加しました。

花見運営委員長のあいさつの後、郵便、明治安田生命、こくみん共済コープ長野推進本部の各来賓から信越における取組状況及び商品説明を受けました。その中で各社とも、組合員の減少により保障内容の見直しが行われるとの説明がありました。

共済は組合員と家族の生活を守る助け合いの制度であり運動です。昨今の地震、風水害の被害は甚大となり、日常生活に戻るには多額な費用や大変な労力が必要となります。J P 共済生協はその精神的、物理的な負担を少しでも軽減するため、組合員・家族に安心をお届けする運動であると改めて実感しました。

<揖斐氏報告>

信越地方退職者の会 第1回幹事会

12月9日、信越地方第1回幹事会が長野市「犀北館ホテル」において、7名の出席により開催されました。山田会長挨拶後、花見地本委員長より、J P 労組の課題として、①手当制度の見直しに関する現状、②26春季生活闘争の対応状況について挨拶を受けました。報告事項では青木事務局長より活動報告と組織状況、各種署名活動の集約状況について説明が

ありました。討議事項では中央幹事会の予備提起として、原田地方副会長から「慶弔制度や会費、会議設定のあり方等について、各地方で組織運営に関わる基本的な論議を行い、第12回全国総会で正式に提案する。その後も地方議論と往復運動の上、第13回全国総会で決定する予定である」との説明を受けました。この後検討項目について意見交換を行い、時間超過の中終了しました。

長寿で健康 生き生きコーナー

私の健康法と日々の生きがい

藤山 清さん（八十四歳・中越支部）



「生き生きコーナー」のお話があった時、自分が…？との思いでした。特段語る事も無いため、日頃の生活の報告でお応えとします。

① 日々の生活の一番の基盤が、週5日目標で、体育館に出かけ筋力トレもどきの運動通い。各種筋トレ機器で汗を掻く。約2時間余り。最後にストレッチで完了。定年で始めてもう24年。お陰で風邪も引かなくなりました。合間の仲間との交流談義が楽しい。

② たった一つの趣味が山歩き。現役時代から続けており、20年程前から若手の局仲間グループに加えてもらって続いているが、80歳もとうに過ぎ、近年2、3km級の山行きは迷惑となるので遠慮している。今は低山徘徊で楽しんでいる。③ もう一つの山の会も楽しんでいる。「県高齢者大学・長岡校」同期仲間、男

女15人で結成の「十宝山の会」。今は皆な80歳ほど。年に10回ほどの山行き。いつも山頂での自家製持ち寄りつまみを肴にした宴と寛いだ談笑会が何よりの楽しみ。今年で13年。登った山が百十三山。区切りに5月、記念紀行集ができあがった。（左下写真）

④ 65歳でシルバー人材センターへ加入してやがて20年。公共の会議施設や市営駐車場の受付事務等を経験し、今も民間介護施設の夜間警備の一端を担っている。程々の責任感と適度の緊張感で張り合いを、同時に老化とぼけ防止に、オマケに僅かばかりの晩酌代稼ぎと一石三鳥の収穫が得られて満足している。

⑤ 60坪ほどの畑を始めて30数年。家庭菜園を楽しんでいる。雪消えから、アサツキ・冬菜の採取から始まって玉ねぎ、枝豆、人参、胡瓜、トマト、ネギ、白菜と何でも屋。年間30数種を育て収穫してきた。何年経っても失敗の連続だが、迷惑でも採れた野菜を近所、知人に押しつけて自己満足。汗を掻いて元気の源をいただいている。

そんなこんなが定年後のわが日々のサイクルです。趣味も特技もない自分が、定年後の有り余る時間をどう過ごすかと不安でしたが、幸いいくつかの生きがいの場所があってここまできました。あと暫くこの健康寿命が続くことを願って生きていきます。



優勝 新津支部 齊藤 久夫 氏（左）
準優勝 西蒲原支部 堀 五郎 氏（欠）
第三位 新潟支部 小澤 悟 氏（右）

「悠友会」第10回

ゴルフ大会開催

「悠友会」の第10回ゴルフ大会が2025年10月7日「湯田上カントリークラブ」で開催され、現役、退職者合わせて県内各地より41名の仲間が参加しました。

参加者の日頃の行いが良いせいか、当日は秋の快晴の中、快適にプレーをすることができました。久しぶりに会うこともあり、お互いに元気に参加できて良かったとの声や、そろそろゴルフも引退かなと言っていた人ももう少し続けようと言ったり、和気あ

いあいの中、とても快適に充実した一日を過ごすことができました。

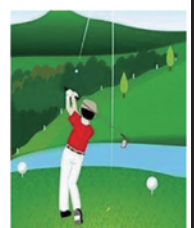
今回は第10回のメモリアル大会のため、通常の表彰と飛び賞の他、悠友会賞2本も追加で贈呈があり、大変盛り上がりしました。

なお、第10回大会を以って、悠友会会長の米田秀逸さん（新津支部）が退任され、池田賢司さん（中越支部）が新しく会長に就任されました。今後とも宜しくお願いします。

（内藤氏報告）



【表彰式・結果発表（何位かな？）】



お知らせコーナー

おめでとうございます

【敬称略】

お悔やみ申し上げます

慶事	月	お名前	支部
喜 <			

月	お名前	支部	ご逝去日
9月	渡辺 正一	新潟	10日
	伊藤 正昭	中越	22日
	高山 広司	西蒲原	24日
	大島 正人	三条	26日
	山田 稔	中越	26日
	鈴木 幸則	上越	27日
	高見 正志	中越	28日
10月	成田 正	下越	3日
	新保 利文	下越	28日
	中西 英雄	上越	30日
11月	井上 寅雄	下越	10日

新規会員

月	お名前	支部	加入日
10月	鈴木 新一	下越	17日

**＜年金払介護コース＞
のお知らせ**

JPトピックス

《補償内容》

被保険者が、補償開始日以降初めて公的介護保険制度に基づく「要介護2」以上になった場合に、認定日を基準に毎年1回、最大で10年間にわたり保険金をお支払いする制度。契約型は30万円型と50万円型のいずれか選択。「要介護2」以上の認定を受けた時、以降の掛金負担は不要です。 ※本契約は掛捨てで配当金等はありません。

《掛金表・月額》

	年齢群	30万円型		50万円型	
		男性	女性	男性	女性
新規加入・更新	59歳まで	省略		省略	
	60～64歳	270円	250円	440円	420円
	65～69歳	680円	830円	1,130円	1,380円
	70～74歳	1,300円	1,860円	2,160円	3,100円
の更新	75～79歳	2,880円	4,280円	4,790円	7,140円
	80～84歳	5,060円	8,000円	8,430円	13,330円

☆照会先:信越共済地方部 (TEL) 026-223-0294

◆明けましておめでとうございます。

昨年7月第27回参議院議員選挙が施行された。ご承知の通り、比例代表「沢まさひと」氏と新潟選挙区「打越さくら」氏が2期目の当選を果たし、私たちも所期の目的を達成できた。現退一体の運動の成果と思う改めて、感謝したい。

◆参議院選挙勝利に向けて意思結集をはかっていた一年前がとてと近く感じる。年を重ねると時間の流れが早く過ぎる感覚に陥るが、これには幾つか理由があるようだ。

◆NHKのバラエティ番組「コちゃんに叱られる」で放送されていたが、答えでは「天人になるとあつという間に一年が過ぎるのは、人生のときめきがなくなっただから」。メカニズムは省略するが、私は正にこれだと思った。

◆毎号の「長寿で健康生き生きコーナー」では、スポーツや芸能・芸術、音楽、旅行更には日頃の健康づくりなど、文章や写真からときめきや笑いが伝わってくる。充実した一日一日をお過ごしのことか推察される。

◆私も今年こそは〇〇〇にチャレンジしてみるか。

「ボーっと生きてんじゃねーよ」と叱られる前に。

今年も宜しくお願いいたします。

雜感